公益社団法人北海道理学療法士会ニュース

Northerner

Northerner 2026 | No. 249

総会員数 7,897 名（2026.09.30現在）











Contents

第78回北海道理学療法士学術大会のお知らせ
学術論文誌「北海道理学療法（第44巻）」への投稿のご案内
休会制度運用の変更について
第77回北海道理学療法士学術大会を終えて
令和8年度学術奨励賞を受賞して
事務局からのお知らせ
女性理学療法士を対象としたアンケート調査
北海道マラソン2026救護活動報告
医療のお仕事体験フェスに参加して
北海道障がい者スポーツ大会陸上競技PTブースに参加して
求人募集広告申込要項
5分でわかる理学療法士に知ってほしいニュース
北海道理学療法士会　法人内各部の活動紹介シリーズ
第5弾 健康スポーツ局のご紹介
臨床家による症例報告のすすめ
賛助会員・協賛企業一覧
原稿締切・原稿募集のお知らせ

第78回 北海道理学療法士学術大会のお知らせ

探究から探求へ

～ なぜ？ から始まる臨床推論 ～



2027年
10月9日㊏・10日㊐ ｜ 旭川市大雪クリスタルホール

大 会 長：箭内 一浩（北星記念病院）

副大会長：齊藤 浩平（森山メモリアル病院）
大森 達也（PHYSIT）
内藤 考洋（旭川リハビリテーション病院）

準備委員長：伊藤 一成（豊岡中央病院）

探り続ける。考え続ける。その先に、その人の人生がある。

学術論文誌「北海道理学療法（第44巻）」への投稿のご案内

学術局学術誌部　部長　世古　俊明

本誌は理学療法および関連領域における研究発表と実践報告の場を提供することを主な目的としております。本誌への論文投稿料は、原則無料です。
北海道理学療法（第44巻）の投稿の締め切りは令和8年12月31日となっております。皆様からのご投稿を心よりお待ちしております。

＜原稿送付先・連絡先＞
北海道理学療法編集委員会事務局
E-mail：hrigaku0717@gmail.com
学術局学術誌部　部長　世古俊明

【重要なお知らせ】

休会制度運用の変更について

日本理学療法士協会では、2027年度以降、休会制度の運用を以下のとおり変更することとなりました。

- 休会申請時に休会手数料（1,000円（税別））が徴収されます。
- 次年度休会申請が未申請の場合、自動的に復会手続きとなります。
  詳細は「休会制度の運用変更について」をご確認ください。

休会制度の
運用変更について

第77回北海道理学療法士学術大会を終えて



大会長　浮城　健吾

2026年9月26日、27日の2日間、第77回北海道理学療法士学術大会をウイングベイ小樽にて、後志支部と道南支部の合同で開催いたしました。9月30日現在、オンデマンドを含む参加登録者は1,262名、現地では852名の皆様にご参加いただきました。心より御礼申し上げます。

本大会では、「HPTA：Hub for Physical Therapists' Action」～北海道の理学療法士をつなぐ学びの拠点として～をテーマに掲げました。広大な北海道で、それぞれの地域に根ざして活動する理学療法士が集い、日々の実践で得た知見や工夫、現場で抱える問いを持ち寄る。その学びやつながりを、再び各地域での実践に生かしていく。そのような往来を支える拠点（ハブ）として、本大会を位置づけました。

「早く行きたければ一人で行け、遠くへ行きたければみんなで行け」この言葉に重ねたのは、出会いを継続的な支え合いにつなげたいという想いです。学術大会での出会いが、現場に戻ってからも相談し合える関係につながってほしい。そのために、今回は特に、参加者同士が言葉を交わす機会を大切にしました。

1分間自己紹介ピッチは参加者が互いを知り、話しかける糸口に、ネットワーキングセッションは施設や地域、世代を越えて日々の経験や悩み、工夫を持ち寄る場としました。さらに、メッセージカードの導入や養成校ラウンジの設置、スタンプラリーの実施など、交流のきっかけを大会の随所に用意しました。

市民公開講座には、90名を超える市民の皆様にご参加いただきました。骨粗鬆症や転倒予防を取り上げ、日常生活での健康づくりを考える機会としました。専門職同士の学びに加え、地域の皆様と健康や暮らしについて考えることも、本大会が目指した拠点の役割の一つです。





後志支部と道南支部が、それぞれの経験と力を持ち寄って一つの大会をつくる過程は、私たちにとっても、支部を越えたつながりを育てる実践となりました。準備から当日の運営までご尽力いただいた大会役員、スタッフの皆様に、深く感謝申し上げます。

大会後、SNSで「今までで1番楽しい道学会でした」という投稿を目にしました。学ぶことの面白さや、人と出会い、語り合う喜びが、次もまた集まろうという気持ちにつながっていく。私たちが目指したのは、そのような学術大会でした。この一言に、準備を重ねてきた日々が報われる思いがしました。

大会で得た知見や出会いを、それぞれの現場での実践につなげ、次大会でその続きを語り合う。そうした積み重ねを通して、学術大会が道内の仲間と学び合い、互いの実践を支える拠点として機能し続けることを願っております。

結びに、ご登壇、ご発表いただいた皆様、ご協賛、ご協力を賜りました関係各位、そして本大会にご参加いただいたすべての皆様に、厚く御礼申し上げます。

令和8年学術奨励賞を受賞して

札幌医科大学附属病院　佐藤　優衣

この度は、令和8年学術奨励賞という栄誉ある賞を賜り、誠にありがとうございます。日頃よりご指導、ご支援をいただいております皆様、ならびに研究にご協力くださった研究参加者の皆様に心より感謝申し上げます。

現在、臨床現場では、脳神経外科や脳神経内科の患者様に加え、NICUやGCUに入院している赤ちゃんや長期の治療を必要とする小児科のお子さんを担当しております。日々の臨床では悩むこともありますが、同僚の先生方に支えられながら、一人ひとりの患者様と向き合っております。そうした中で、臨床で生じた疑問を大切にし、患者様やお子さんに還元できる研究につなげたいとの思いで、研究活動を続けております。



臨床と研究を両立していくには、体力面や時間面での難しさがあり、限られた時間を有効に活用する工夫が必要だと実感しております。大規模な研究を行うことは容易ではありませんが、小規模であっても継続的に取り組み、得られた知見を日々の臨床に活かしながら、少しずつ研究を発展させていきたいと考えております。また、日々の気づきや成果を公表し、形に残していくことも大切にしていきたいと思っております。

今回の受賞を励みに、ご協力くださる皆様への感謝を忘れず、患者様やお子さんにより良い支援を届けられるよう、これからも臨床および研究に励んで参ります。

▶▶▶ 事務局からのお知らせ ◀◀◀

1 異動・住所変更 改姓・転出入 等

○異動（休退会を含む）が生じ次第、速やかに協会マイページより、変更手続きをお願い致します。
※マイページID、PW 紛失の場合は、日本理学療法士協会　TEL: 03-6804-1421　へ申請願います。
○ご結婚等で改姓をされた際の免許の書き換えは、お住まいの地区の保健所又は保健センターでの手続きとなります。

2 年会費納入 年会費領収書

【会費納入について】
○年度開始前の3月末までに納入が無かった場合、4月より会員権利全面停止となり、6月末までに納入がなかった場合、会員資格喪失により退会となります。（退会の場合、生涯学習履歴は全て無効となり、復会しても履修履歴は戻りません。）詳細は、右記QRコードより日本理学療法士協会HPをご確認ください。
○納入手続きは、納入漏れや送金手数料が不要のクレジットカードを推奨致します。
詳細については、日本理学療法士協会へお問い合わせ下さい。（TEL:03-6804-1421）

日本理学療法士協会 HP

【年会費領収書について】
○日本理学療法士協会マイページより領収書の取得ができます。
出力方法:マイページログイン→お支払い管理→お支払い履歴・領収書発行

3 慶弔関連

●慶事:会員の結婚〈ご披露宴に祝電をお届け致します。〉
①依頼者氏名・会員番号 ②本人氏名（女性会員の結婚の場合は旧姓）・本人会員番号 ③日時　④会場・住所・TEL
上記4点を記載し、事務局までメールにてご連絡下さい。office@pt-hokkaido.jp

●弔事:会員本人、配偶者及び一親等までのご家族についてのご不幸〈弔意を表します。〉
①依頼者氏名・会員番号
②亡くなられた方の氏名
1:会員本人の場合
• 会員氏名 ○○ ○○、会員番号 ○○○○○○○○
2:会員の配偶者及び一親等までのご家族の場合
• 亡くなられた方の氏名 ○○ ○○、続柄（実父・義母 等）
• 会員氏名 ○○ ○○、会員番号 ○○○○○○○○
③日時（お通夜・告別式）
④会場・住所・TEL
⑤喪主氏名・続柄
（亡くなられた方との続柄。妻・長男等）
⑥会員周知対応可否
※土日祝日の場合、対応が遅れる場合がございますのでご了承ください。

4 その他

●士会からの郵送物について
本会発行の出版物について、以下の宛先に送付しておりますが、宛先不明や退職済みで返送されるなど、郵送物が届かない状況となっている方が、2026年9月30日現在で107名おられます。
心当たりのある会員におかれましては、協会マイページをご確認いただき、会員情報（所属施設、自宅住所など）を更新いただきますようご協力お願い申し上げます。

（郵送先・郵送物）
・会報誌「Northerner」、学術誌「北海道理学療法」：所属施設登録会員→会員所属部署へ1冊（個人宛ではありません）・所属施設未登録会員→自宅へ1冊
・総会資料：マイページの「希望郵送先＞士会郵送先」登録した送付先へ個人宛に1冊送付します。

●日本理学療法士協会 会員マイページ専用アプリについて
マイページにオートログインし、各メニューが利用できます。
協会、士会からのお知らせをプッシュ通知で受信することもできます。
ぜひインストールしてご利用ください。

会員マイページ専用アプリについて

女性理学療法士を対象としたアンケート調査

職能局 職域事業部

■ 目的

北海道理学療法士会職能局職域事業部では、女性理学療法士の皆様の就業環境・キャリア形成・子育て支援等に関する課題やニーズを具体的に把握するため、アンケート調査を行なったので報告する。

■ 調査概要

対　象：北海道内の施設に勤務する女性理学療法士
期　間：令和7年12月～令和8年2月28日　　WEB回答
回収数：305件
　　2026年2月時点で就労している女性理学療法士：約2,500名（休会・退会者含む）

■ 調査結果

1. 勤務形態と職場の働きやすさの満足度［質問：所属先区分、勤務形態・体系、現在の職場の働きやすさの満足度］

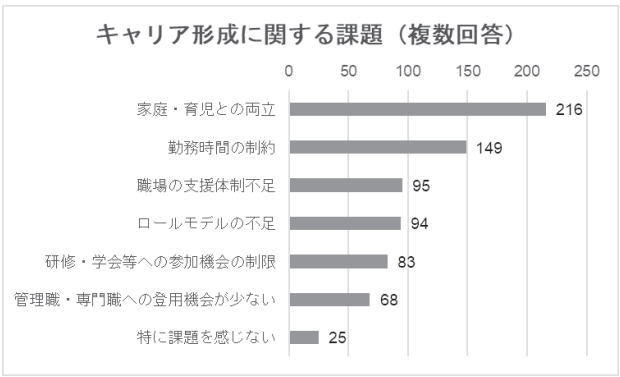
・ 所属先は「病院（急性期・回復期）」が多く、約85％が常勤（フルタイム）勤務。休日は「4週8休」が大半。
・ 働きやすさの満足度は「やや満足」が約半数（約50％）を占める一方、「どちらともいえない」「やや不満」も一定数存在。

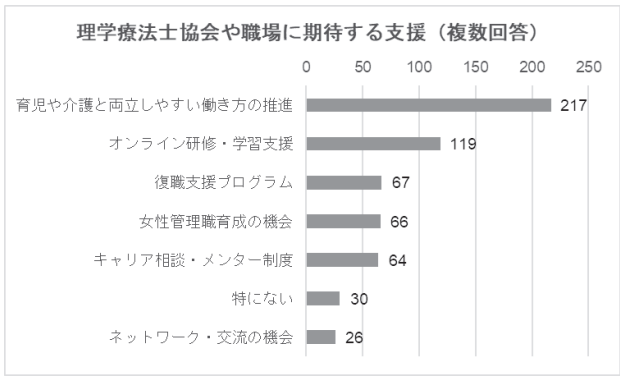
2. キャリア継続・発展における課題［質問：キャリアを継続・発展させる上で、どのような点に課題を感じるか］

・「家庭・育児との両立」が216件と最多。次いで「勤務時間の制約」149件、「職場の支援体制不足」95件、「ロールモデルの不足」94件、「研修・学会参加機会の制限」83件。

3. 協会や職場に期待する支援策［質問：理学療法士協会や職場に対して、どのような支援を期待するか］

・「育児や介護と両立しやすい働き方の推進」が217件で最多。次いで「オンライン研修・学習支援」119件、「復職支援」67件、「女性管理職育成の機会」66件。





4. 産前・産後および育児休業に関する支援／職場復帰後の支援

［質問：女性が産前・産後休業や育児休業を取りやすい環境があるか／出産後の職場復帰時の配慮はあるか］

・ 休業の取りやすい環境があると感じるかについては「そう感じる」が55.1％（168件）で最多。次いで、「ややそう感じる」が22.6％（69件）。職場復帰後の支援については、「ある程度ある」40.7％（124件）、「十分ある」24.3％（74件）。

5. 就業環境や支援体制への改善要望

［質問：今後の就業環境や支援体制に関して、改善してほしい点・望む取り組み（自由記述）］

・【研修・研鑽】オンライン配信・単位認定の柔軟化、身近なロールモデル提示
・【両立・身体】「小1の壁」対応や突発欠勤の代替配置、肉体負担・単位ノルマの配慮、生理休暇の形骸化防止
・【公平性・協会】時短者等のフォローに入る周囲への負担是正（手当・評価）、会費・研修費用の負担軽減

■まとめ

女性理学療法士の就労継続には、身体的負担の軽減や柔軟な勤務形態、オンライン学習環境に加え、欠員や時短をカバーする周囲スタッフへの公平な配慮など、「職場全体で無理なく働き続けられる環境づくり」が必要である。

※詳細は北海道理学療法士会ホームページをご参照ください。
　理学療法士の皆様へ＞会員メニュー＞復職関連情報＞報告

北海道マラソン 2026 救護活動報告



健康スポーツ局 生涯スポーツ支援部　大角　侑平

8月30日に北海道マラソンが開催され、48名の本会会員が参加し、医師、看護師、学生ボランティアの皆様と協働しながらフィニッシュ地点救護所においてランナーの救護活動にあたりました。

当日はスタート時の気温が19.9℃と例年に比べて低く、ランナーにとって比較的走りやすいコンディションとなりました。そのため、救護所に搬送されるランナーは例年よりやや少ない印象でしたが、搬送されたランナーには熱疲労、多発的な筋痙攣、低体温、嘔吐と様々な症状がみられ、状態に応じてアイシング、ストレッチ、マッサージ、保温・加温など臨機応変に対応する会員の姿がいたるところで見られました。また救護テント内での運営方法やランナーの状態に応じたトリアージなど、安全かつ円滑な救護活動を行うための体制が年々ブラッシュアップされていることを実感する機会となりました。



本会では北海道マラソンをはじめとするスポーツイベントの安全な運営に貢献するため、研修会の開催などを通じて会員の知識、技術の向上に取り組んでおります。来年も救護スタッフを募集する予定ですので、整形外科勤務やスポーツ現場活動の経験の有無を問わず、多くの会員の皆様のご応募をお待ちしております。

医療のお仕事体験フェスに参加して



北樹会病院　兼村　佳沙

昨年に引き続き、小・中・高生を対象とした「医療のお仕事体験フェス」が開催され、私は今回初めて参加いたしました。

初参加ということもあり、「子どもたちが理学療法士という職業に興味を持ってくれるだろうか」「体を動かす体験の中で怖がらせてしまわないか」と最初は不安もありました。しかし実際の現場では、子どもたちだけでなく保護者の方々も熱心に参加してくださいました。

特に車いす体験では、段差の乗り越えや後ろ向きでの駐車など、難易度の高い自力操作に挑戦していただきました。体験した子どもたちからは「難しい！」「難しかったけどできた！」といった声が上がり、自ら挑戦してやり遂げた大きな達成感を感じてもらえたようです。また、車いすで生活されている方の視点や大変さを少しでも実感していただける貴重な機会になったと感じています。



そのほかにも、ご家族で握力測定をして同年代の平均値と比較したり、重錘を使った下肢の筋力訓練で「健側と患側のどちらに使うのが効果的か」を一緒に考えたりと、体験の中で生まれた疑問に主体的に向き合う姿も多く見られました。

今回の参加を通じ、日常では触れる機会の少ない体験をしていただくことで、年代を問わず新しい気づきや視点を発見できる素晴らしいイベントだと改めて実感いたしました。

北海道障がい者スポーツ大会
陸上競技　PT ブースに参加して



八木整形外科病院　林　楓太

このたび、第64回北海道障がい者スポーツ大会が開催され、私は陸上競技に理学療法士として参加しました。

普段は整形外科の急性期病棟で勤務しており、比較的健康な患者様のリハビリテーションを担当することが多く、後遺症のある方と関わる機会はほとんどありません。以前から、障がいのある方、特に義足を使用されている方のリハビリテーションに興味があり、今回はそのような方々と関わることができる貴重な機会だと思い、参加しました。

当日は天候に恵まれ、日差しのある場所では暑さを感じるほどでした。PTブースでは、コンディショニングやテーピングを行うだけでなく、体調不良により救護を必要とする選手への対応もありました。

選手の中には、自分の身体の状態を把握することが難しかったり、身体の状態をうまく伝えることが難しかったりする方もいました。そのため、普段の臨床とは異なる視点で選手の様子を観察し、コミュニケーションをとる必要があり、障がいのある方との関わり方の難しさを感じました。

私自身、普段の業務でスポーツに関わることはありますが、大会現場で理学療法士として活動するのは今回が初めてでした。わからないことも多くありましたが、参加された理学療法士の方々から教えていただきながら活動することができ、また、日ごろの臨床で身につけた知識や技術をスポーツ現場でも生かすことができました。初めての経験でしたが、とても充実した一日となりました。



今回の活動を通して、障がいのある方が安心して競技に臨むために、理学療法士が力になれることは想像していた以上に多くあると感じました。選手と直接関わる時間は限られていましたが、実際の競技現場に参加したことで、多くのことを学ぶことができました。

今回の経験をきっかけに、今後もさらに知識や経験を深め、パラスポーツの現場で選手を支えることのできる理学療法士を目指していきたいと思います。





求人募集広告申込要項

掲載料金	●A4 1ページ　白黒印刷：30,000円+税 ●A4 1/2ページ 白黒印刷：15,000円+税
掲載箇所	1.北海道理学療法士会 会報誌「Northerner」（発行部数2,100部） 2.公益社団法人北海道理学療法士会ホームページ（会員メニュー>求人広告）
発刊時期	2・6・9・11月 ※ホームページへの掲載は、通常2~3か月間となり、期間が過ぎた場合は自動的に削除させていただきますので、予めご了承願います。なお、掲載が不要となった場合は、ご連絡ください。
お申込み方法	本会ホームページの各種申請書ダウンロードより「求人広告申込要項」を取得して、記載例を参考に作成し、事務局までお申込ください。お申込を受信しましたら担当者より受領及び校正の連絡を致しますが、連絡が無い場合には事務局（TEL:011-213-0301）までお問い合わせください。なお、校正は原則1回とさせていただきます。 ※原則として、フォントはMSゴシック体とし、指定ロゴ・写真・画像の追加、お取り扱いは致しておりませんので、文字のみで作成をお願い致します。 ※本会の都合により掲載できない場合がありますので、予めご了承願います。
申込締切	**発刊前月の1日**　締切後は次号ご掲載となります。
お支払い方法	掲載された会報誌とともに、ご請求書を同封致します。 お手元に届き次第、お支払いいただきたくお願い申し上げます。
お申込み・お問い合せ先	公益社団法人北海道理学療法士会 事務局 〒060-0807 札幌市北区北7条西6丁目1-4 北苑ビル2階 TEL:011-213-0301 FAX:011-213-0302　E-mail:office@pt-hokkaido.jp

理学療法士に知ってほしい
NEWS
5分でわかる！

社会・医療情勢の中で、理学療法(士)に関する内容を中心にピックアップしてみなさまにご紹介します。

職能局職域事業部

国がリハビリ政策を本格強化！厚労省「リハビリテーション統括調整室」を新設

リハビリテーション統括調整室について

経緯

○ リハビリテーション専門職の活躍の場は、医療、介護にとどまらず、予防や健康増進の分野にも拡大。
○ 今後、「攻めの予防医療」の具体化に取り組んでいく中で、リハビリテーション専門職が果たす役割は大きい。
○ こうした背景を踏まえ、「理学療法士及び作業療法士法」施行後約60年の間での役割の変化等も踏まえながら、制度的な見直しというものが考えられるかどうか、検討していく必要。
○ このため、厚生労働省において、省内の関係部局が一丸となり、分野横断的にリハビリテーション政策を進めるため、「リハビリテーション統括調整室」を令和8年5月19日に設置。

リハビリテーション統括調整室概要

○ 医療、介護、障害福祉の垣根を越え、分野横断的にリハビリテーション政策を推進する必要。
○ 厚生労働省内で所掌ごとに組織されている関係部局の連携及び調整を図りながらリハビリテーション政策を進めるため、リハビリテーション専門職を有効的に活用し、将来にわたり国民の健康の増進に寄与するリハビリテーションを国家戦略として推進。
○ リハビリテーションに関わる施策の総合的な調整に関する事務を所掌する。

構成員（敬称略）

室長	大臣官房審議官	江浪　武志
次長	医政局医事課長	中田　勝己
〃	老健局老人保健課長	堀　裕行
〃	保険局医療課長	林　修一郎

その他室員として、地域における介護予防の事業や高齢者の保健事業等を担当する関係部局職員により構成。
5月19日現在、総勢17名。

上野厚生労働大臣の会見(2026.5.19)

リハビリテーション統括調整室の設置についてです。

近年、リハビリテーション専門職の皆さんの活躍の場は医療、介護にとどまらず、予防や健康増進の分野にも拡大しています。今後、攻めの予防医療の具体化に取り組んでいく中で、リハビリテーション専門職の皆さんが果たされる役割は大きいと考えています。

こうした観点も含め、また理学療法士及び作業療法士法の施行から約60年が経過していますが、その間役割の変化ということも考えられます。

そうしたことも踏まえながら、制度的な見直しというものが考えられるかどうかということを検討していく必要があると考えています。そのため、省内の関係部局が一丸となって、分野横断的にリハビリテーション政策を進めるために、本日、医療介護連携・データヘルス改革担当の大臣官房審議官を室長とするリハビリテーション統括調整室を設置いたしました。

この体制の下で、国民の健康の増進に寄与するリハビリテーションを戦略的に推進していきたいと考えています。

ニュースに関するご意見・ご感想がありましたら
hpta.shokuikijigyoubu@gmail.comまでお願い致します。
今後のニュース作成の参考とさせて頂きたいと思います。

出典：厚生労働省ホームページ
https://www.mhlw.go.jp/stf/kaiken/daijin/0000194708_00928.html

情報提供キャラクター


ベテラン上司
Nao


後輩
Aya

Aya さん、厚生労働省に新しく「リハビリテーション統括調整室」ができたのを知ってる？



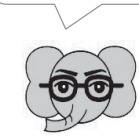

えっ !? リハビリテーション専門の部署ができたんですか？

そう。これまで医療・介護・障害福祉など、それぞれの分野で進められてきたリハビリ政策を、予防や健康増進も含めて分野横断的に進めるためなんだ。




なるほど。理学療法士の活躍する場も、病院や施設だけではなく、地域や予防の分野まで広がってきていますもんね。

そうなんだ。さらに厚生労働大臣は、PT・OT法の施行から約60年経過していることにも触れて、役割の変化を踏まえた制度的な見直しの必要性についても検討していくとしているよ。




ということは、今後は理学療法士の役割や制度そのものが変わっていく可能性もあるんですね。これからの動きに注目したいですね！

北海道理学療法士会　法人内各部の活動紹介シリーズ

第5弾

健康スポーツ局のご紹介

～生涯スポーツから障がい者スポーツまで、学校やスポーツ現場へと広がる PT のフィールド～

会員の皆様に各部が日ごろどのような活動をしているのかを紹介することで興味をもつ、あるいは活動に参加するきっかけになってほしいと思い紹介記事を連載していきます。

第５弾は健康スポーツ局の生涯スポーツ支援部、障がい者スポーツ支援部を紹介いたします。

スポーツと学校保健から地域の健康を支える
― 生涯スポーツ支援部の活動 ―



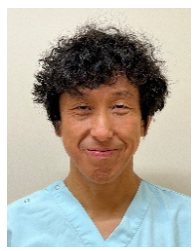
生涯スポーツ支援部　部長　**朝野　玄太**

生涯スポーツ支援部では、子どもから高齢者までスポーツや身体活動を通じて道民の皆様が健康でいきいきと生活できるよう、理学療法士の専門性を活かした様々な支援を行っています。これまで中心となっていた活動は、スポーツ大会や地域イベントへの理学療法士の派遣です。選手への医科学サポートやコンディショニング、傷害予防に関する助言・啓蒙活動などを通じて、安全にスポーツを楽しめる環境づくりを支援しています。近年では、スポーツ現場での活動に加えて、学校保健領域にも力を入れています。成長期の子どもたちが抱える運動器の問題や、運動習慣・身体活動に関する課題に対して、理学療法士の専門性を活かす機会が広がっています。活動の一例として、アンケート調査から健康課題を把握し、その結果に基づく出前授業をモデルケースとして実施しました。今後も学校や教育関係者と連携しながら、地域や学校の課題に応じた支援のあり方を検討・展開していきます。

スポーツや学校保健の現場では、医療機関とは異なる制度や文化、関係職種との連携が求められるため、知識や技術に加え、それぞれの領域への理解が必要です。難しさがある一方、こうした地域のニーズに専門性を活かして応えることは、理学療法士の職域拡大につながる可能性があります。活動の価値を社会的に示しながら、適切な対価を伴う持続可能な仕組みを構築していくことが重要だと考えています。

当部では、子どもから高齢者まで、生涯を通じた健康と身体活動を支える取り組みを進めていきます。これらの活動を多くの会員の皆様に知っていただき、地域での活動に参加していただけますと幸いです。

「パラスポーツをもっと身近に」
― 理学療法士がつなぐ、北海道のパラスポーツ ―



障がい者スポーツ支援部　部長　**塚田　鉄平**

障がい者スポーツ支援部では、障がいのある方がスポーツを通じて身体を動かす楽しさや競技する喜びを感じ、目標に向かって活動を続けられるよう、理学療法士の専門性を活かした支援を行っています。

これまで中心となってきたのは、大会や競技会への理学療法士の派遣です。コンディショニングや身体のケア、傷害予防などを通じて、選手が安全に競技へ取り組める環境をつくっています。

一方、北海道は広大で、地域や競技によって支援体制に違いがあるうえ、「どこから始めればよいかわからない」という声もあり、情報や人材のつながりが不十分なことが課題です。

パラスポーツの現場では、障がい特性に加え、競技特性や用具、ルールを理解し、選手、競技団体、指導者、医療・福祉関係者などと連携した支援が求められます。理学療法士の専門性は、競技活動を支えるだけでなく、社会参加や生涯の健康づくりにも活かせます。

パラスポーツを「特別なスポーツ」として捉えず、一人ひとりの身体や生活、目標に合わせて参加を支えることを大切にしています。「関わってみたい」「まずは現場を見てみたい」という理学療法士が一歩を踏み出せる環境をつくることも役割です。

当部では、「競技・大会支援」「情報共有・ネットワークづくり」「人材育成」を柱に、支援の地域差をなくし、北海道のどこにいてもパラスポーツに関われる環境を広げ、その発展に貢献していきます。

パラスポーツの現場には、理学療法士だからこそできることがあります。多くの会員の皆様に知っていただき、「自分も関わってみたい」と感じていただければ幸いです。まずは見学からでも構いません。一緒に北海道のパラスポーツを支えていきましょう。

臨床家による症例報告のすすめ
―あなたの悩みが、誰かの道標になる―



新さっぽろ脳神経外科病院　山田　尚幸

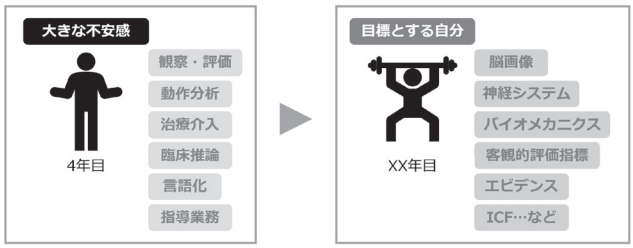
○症例報告を始めた理由

臨床現場で働く皆さん、突然ですが日々の診療業務の中でご自身の思考過程を振り返る機会はどのくらいありますか？

私の場合、入職してあっという間に月日が経ち、5 年目を迎える時に「理学療法士としてもっと成長しないといけない」という焦りと不安に駆られていました。

そんな中、藤野雄次先生の書籍「そのとき理学療法士はこう考える」の中で「事例検討を重ねることは、必ず自身の臨床力や問題解決能力を育成し、その作業を積み重ねた事例集は次の臨床に役立つ宝物になるはずである」という言葉に感銘を受けて、症例報告を書き始めました。

症例報告を始めた理由

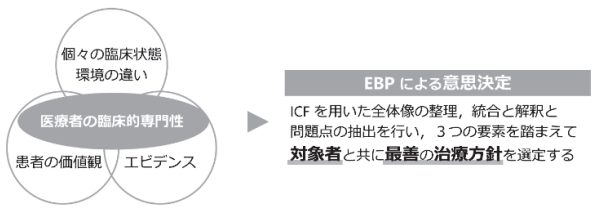


○理学療法士に求められる意思決定能力と実践の難しさ

理学療法士の意思決定について evidence-based practice（EBP）の考え方が広まっています。EBP は右図の構成要素で成り立っていますが、これらの要素を統合し、最善の治療方針を選定する能力を養う必要があります。

また臨床研究も進んでいて定期的にガイドラインが見直され、日々新たな論文が掲載されています。一方で、脳卒中分野で働いている私が臨床現場で出会う多くの症例は高齢化が進んでおり、重複疾患を抱えていることも多く、予後予測や目標設定に難渋することも少なくありません。臨床研究では理学療法介入の阻害因子を持つ症例が研究の除外対象になってしまうこともあり、臨床現場で難渋する症例についての知見は多くないのが現状です。

EBP による意思決定



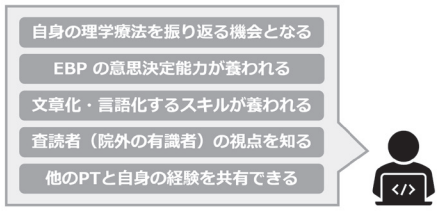
○臨床家による症例報告のすすめ

EBPを実践するにあたり、意思決定能力を高めることは重要だと思います。症例報告では症例の評価結果を踏まえて、意思決定を行い、理学療法の詳細な内容や経過を記載します。そして、結果について科学的根拠となる引用論文を用いて考察するため、自身の思考過程を整理する上で非常に有用な機会になると思います。

もう一つ、症例報告を行う意義として、臨床現場で難渋した症例を理学療法士業界全体で分かち合うことが、個人的には重要であると考えています。脳卒中分野の場合、原因疾患の他に重複疾患を抱えている症例や経過の中で予後予測や目標を下回ってしまった症例などについて、11 年目になった現在でも最善の理学療法を提供できたのか？と自問自答することがあります。

一人の理学療法士あるいは組織の中の理学療法士だけの経験で終わらせてしまうのではなく、全国で同じように臨床現場で悩む理学療法士や症例の助けとなるために、皆さんも症例報告を書いてみませんか？

臨床家による症例報告のすすめ



正賛助会員
キーウェアメディカル株式会社
学校法人淳心学園　北海道千歳リハビリテーション大学
学校法人都築教育学園　札幌医療リハビリ専門学校
学校法人鶴岡学園　北海道文教大学
学校法人西野学園
学校法人日本医療大学
学校法人東日本学園　北海道医療大学
学校法人北海道科学大学　北海道科学大学
学校法人吉田学園　専門学校北海道リハビリテーション大学校
公益社団法人函館市医師会　函館市医師会看護・リハビリテーション学院

副賛助会員
公益社団法人　北海道作業療法士会
一般社団法人　北海道言語聴覚士会
特定非営利法人HPT
株式会社竹山
矢崎化工株式会社　北海道支店
アビリティーズ・ケアネット株式会社　札幌営業所
有限会社テックワークス

協賛企業
オージー技研株式会社　札幌営業所
酒井医療株式会社　札幌営業所
株式会社日本メディックス　札幌営業所
ミナト医科学株式会社　札幌営業所
株式会社ムトウ

Northerner 原稿締切

◎No.250（ 2月発刊）2027年　1月1日（金）締切
◎No.251（ 6月発刊）2027年　5月1日（土）締切
◎No.252（ 9月発刊）2027年　8月1日（日）締切

締切後にご提出いただいた原稿は、原則次号以降のご掲載となります。
予めご了承願います。

原稿募集のお知らせ

皆様からの原稿を募集しております。
全道の会員へ報告したいこと、伝えたいことがありましたら
是非、下記アドレスまでご連絡ください。

原稿送付先：広報部（**kouhou@pt-hokkaido.jp**）

なお、求人広告原稿につきましては、事務局までご連絡願います。
求人広告原稿問合せ先：事務局（**office@pt-hokkaido.jp**）

広報部公式 Instagram

@HOKKAIDO_PHYSICALTHERAPY_PR

会員の皆様に役立つ情報を
お届けいたします。
フォローよろしくお願いいたします。

北海道理学療法士会 公式LINE

Northerner No.249
2026年11月1日発刊

発行／公益社団法人北海道理学療法士会　発行人／森山 武　編集人／橋本 晃広　印刷／幡本印刷株式会社
事務局／〒060-0807 札幌市北区北7条西6丁目1-4北苑ビル2階　TEL：011-213-0301　FAX：011-213-0302
※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。